

吉岐市

# 議会だより



平成29年10月26日発行

発行責任者：吉岐市議会議長

編集：議会広報特別委員会

## 【主な内容】

吉岐市子ども議会	2
9月会議で決めたこと	4
どえな予算のあと	5
委員会レポート	6
一般質問	9
市民の声	15
議会だよりクイズ	16



勝本中学校体育祭

# 壱岐市子ども議会開催！

## 勝本中学校

下條理喜 議員 土肥ちひろ 議員 大久保都羽 議員 川上陽子 議員

### 質問

- ①ふるさと納税でいただいた寄附金の具体的な使い道は
- ②有人国境離島法で、壱岐にどのような変化や取り組みがあるか？ また、航路航空路の利用者運賃が一律に引き下げられることはあるか？

### 提言

- ・寄附金の使い道をもっと市民に提示してほしい。寄附金は、神社周辺整備、農漁業従事者確保や加工品の開発のための補助、街灯設置に使って欲しい。
- ・観光客の延泊者やリピーターを増やすために、壱岐でも民泊を取り入れて欲しい。また、島外から参加者が多い「新春マラソン」などのイベント参加者の航路航空路運賃を引き下げれば、島外からの参加者が増え一層盛り上がるのではないかな。



### 答弁

- ①寄附金は、産業振興や文化財保護、子育てや教育の充実、未来を担う人材育成、移住定住の促進、福祉医療の充実、防災力の強化などで活用している。市民に使い道をわかりやすく開示するのが重要。神社周辺整備は政教分離の問題もある。加工品開発はふるさと商社と連携したい。街路灯は公民館長を通じて申請を。
- ②壱岐の優れた特産品を売り込む「ふるさと商社」が首都圏や大消費地に販路拡大を始める。農水産物の海上輸送費に対する支援、もう一泊の観光の推進、働く場所の拡大に支援をしている。市の活性化を図るために、全ての人の運賃が下がるように対象 71 島の方々と国に働きかけたい。

**再質問** 子ども議会が始まって4年ですが、実際に市として始めたことや参考にしたことはあるか

**答弁** 石田中学校の提案で廃校を専門学校にという提言があり、今年4月からこころ医療専門福祉学校壱岐校が旧鯨伏中学校を利用しています。原の辻ガイダンス横にテレワークセンターを作るなどもしています。

## 芦辺中学校

長元愛奈 議員 安永龍生 議員 日高大地 議員 長嶋愛莉 議員



### 質問

- ①島外から最も参加者数が多い島内のイベントは
- ②イベントのために再来島するリピート率はどの程度か

### 提言

高級食材を使った「A級グルメ」のイベントを開き、観光客を増やしてはどうか。工夫すれば、農漁業の活性化につながり地域経済が安定、従事する若者が増える。また、壱岐の自然を満喫できるイベントなどをしてはどうか。さらに市の発展のために自分たち中学生もボランティア活動をしたい。

### 答弁

壱岐サイクルフェスタが674人でリピート率は約6割程度、新春マラソンが478人でリピート率約5割程度。ウルトラマラソンは575人で、現在、今年の参加者を増やす取り組みをしている。A級グルメのイベントを島内イベントと連携して開くのも1つの方法。

豊かな自然や特徴を生かした農水産物の活用をぜひお勧めしたい。そのため、農協、漁協などと連携、協議が必要。現在、中学生をはじめボランティアをしていただいている。今後も積極的に参加していただきたい。

## 石田中学校

長島来希 議員 市村渉真 議員 平田萌々香 議員 松永彩花 議員

### 質問

- ①市として島内の医療体制をどのように改善しようとしているのか？
- ②悪天候等でドクターヘリでの患者の搬送が困難な場合の対応は？
- ③中学生も医療費負担が減った。内容を詳しく教えてほしい

### 提言

市と病院が連携をとり、受診したい診療科が島内のどの病院にあるのか、いつ受診できるのかなどを教えてくれる「医療情報窓口」を作ってはどうか。医療に関する情報をより簡単に市民が知れば、受けたい治療を島内で受診できる。島外から来られた医師が長期滞在できるようにすれば、安心して島内病院を利用できる。島内の医療設備の充実と常勤専門医を増やすことで、緊急の場合でも島内で対応できることが増える。



## 答弁

新たに医療資源マップを作成して各戸配布や関係機関窓口、情報提供窓口への配布を検討する。さらに、島外の医師と連携できる遠隔医療を視野に入れた支援体制を作る方向で準備中。患者の搬送が困難な場合は、自衛隊、海上保安庁など関係機関と迅速に連携。中学校を卒業するまで、1か月に1つの医療機関を受診した場合に、受診料の上限が1,600円という制度を今年4月から開始した。

## 郷ノ浦中学校

加藤仁一郎 議員 黒木向日葵 議員 吉田香友葵 議員 日高綾祐 議員



### 質問

- ①市内では、どのような子育て支援活動があるのか？
- ②市内に、子育て支援のために、どのような施設がいくつあるか？

### 提言

島外自治体と意見交換して、「優れた政策が吉崎市にあったらどうなるか」アンケートを取るなどして調査し、よい結果が見込めそうな施策を実行すれば、市民の理解も得られるのではないかと。また、子育てする親を対象にした教室、講習会を開くと子育てしやすくなると思う。また、吉岐は子どもが遊ぶ施設が少ないので、地元中学生が廃校で子どもたちと遊んで触れ合えば、地域とのつながりが深まると考える。

## 答弁

出産祝い金など経済的支援、ワンストップ相談窓口で妊娠・出産、子育てに対して切れ目のない支援など様々な施策を実施。子育て支援施設は、市内にある12公立保育所、9幼稚園のほか吉岐こどもセンターなど26施設がある。市内にある50か所の公園の充実を図り、子育て環境の支援に貢献する。また、すでに他市町の優れた施策を参考にしながら取り組んでおり、子育て応援講座等も実施中。中学生の方にはできる範囲でボランティア的に取り組み始めた方がよいと思う。

### 吉崎市子ども宣言の決議

私たちが生活している社会は、情報化が進み、生活が大きく変化するとともに、環境問題や少子高齢化の問題、頻発する自然災害など多くの課題を抱えています。私たちは子ども議会の開催を機に中学生の立場で、吉岐市の現状をもとにしてこれからの吉岐市のことについて考えてみました。

私たちの先輩が守り育ててきた伝統や文化、海に囲まれた豊かな自然や歴史ある吉岐の文化を守り、安全・安心で住みやすく、活気があり「魅力あふれる島・吉岐」にするために、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

### 記

1. 地域の一員として、誰にでも明るく元気なあいさつを心がけ、周りの人とのつながりを深めます。
2. 吉岐の美しく魅力ある自然を守り未来に残せるよう、環境美化に積極的に取り組み、また、安全・安心な住みよいまちづくりのために、防災に努めます。
3. 次代を担う世代として、自らの夢を持ち、吉岐の将来を見据えて、課題を解決できるよう、自分たちができることから取り組みます。

以上宣言いたします。

平成29年8月29日

長崎県吉崎市子ども議会



### 市長あいさつ

子どもたちは一人一人が吉岐の宝であり、将来の吉岐を背負って立つ人材と考えています。今日の経験を生かして、吉岐市の現在、将来に大に関心を持っていただき、学校や地域で活躍され、市の振興発展をリードされることを心から願います。

### 謝辞（郷ノ浦中学校 黒木向日葵）

今回、参加させていただいたことで、まちづくりや医療、子育て支援にかかわる地元の現状について調べたり、意見をまとめる経験ができました。本当に貴重な体験をさせていただいたことに感謝しています。今日の経験をこれからの学校生活に生かして、市民の一人として、これからの吉岐市のことを自ら考え、行動していきたいと思えます。



# 9月会議で決めたこと



## ◆ ぎぎ市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について

市の機関に係る申請等に関し、電子情報処理組織を使用する方法等により行うことができるようにするための共通事項を定めることにより、市民の利便性の向上を図ることと行政運営の効率化に資するため条例を新たに制定した。

## ◆ ぎぎ市情報公開条例及びぎぎ市個人情報保護条例の一部改正について

行政機関の保有する情報の公開に関する法律及び行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、個人識別符号及び要配慮個人情報の定義等について改正を行った。

## ◆ ぎぎ市手数料条例の一部改正について

介護予防・日常生活支援総合事業サービス事業所のみなし指定有効期間が、平成30年3月末で終了することに伴い、指定申請等の手数料を新たに定める必要があるため改正を行った。

## ◆ 人権擁護委員候補者の推薦について

現委員が任期満了になることに伴い、末永厚子氏（勝本町）と福田祥一氏（石田町）の新任推薦を了承した。

## ◆ ぎぎ市議会基本条例の一部改正について

タブレット導入による議会運営など、議会背景も年々変わってきており、社会情勢の変化に適応した議会の在り方及び基本条例の目的を達成するために改正を行った。

## ◆ ぎぎ市議会委員会条例の一部改正について

ぎぎ市行政組織の変更に伴って改正を行った。

## ◎ 平成29年度補正予算

一般会計の9月補正額計	2,180,465千円
特別会計の9月補正額計	106,626千円
一般会計+特別会計補正後の予算総額	37,178,811千円

### ○ 平成29年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	9月補正額	補正後予算額合計	
一般会計	24,791,527	2,180,465	26,971,992	
特別会計	国民健康保険	5,626,655	25,513	5,652,168
	後期高齢者医療	318,701		318,701
	介護保険	3,456,597	50,770	3,507,367
	下水道	460,259		460,259
	三島航路	130,735		130,735
	農業機械銀行	107,246	30,343	137,589
	合計	10,100,193	106,626	10,206,819
一般会計・特別会計の合計	34,891,720	2,287,091	37,178,811	

# どえな予算のあと？



## インバウンドおもてなし向上補助金 **5,000**千円 (うち県費2,500千円)

訪日外国人観光客の受入は地方再生のカギとなるので、外国人観光客の利便性の向上を図り、滞在を促進するため、外国人観光客の受入体制整備を図る。

## 住民基本台帳システム改修業務 **3,240**千円 (うち国費2,760千円)

国策である女性活躍推進社会の実現のひとつとして、マイナンバーカード等への記載事項(旧姓併記)の充実を図るためシステム改修を行う。

## 肉用牛パワーアップ事業 **23,373**千円 (うち県費21,167千円)

「新ながさき農林業・農山村活性化計画」等に基づき、建設コスト低減に繋がる低コスト牛舎の導入等により低コストで増頭を目指す経営体を支援する。

## 干害応急対策事業 **6,454**千円 (うち県費4,884千円)

異常なる干天のため既存の用水源が枯渇して農作物が枯死する恐れがあるため、干害応急対策を実施する。

## ふるさとのづくり支援事業 **3,600**千円

「実りの島壱岐どぶろく特区」の承認を受けており、古代米を使用した甘酒の開発を支援することで、麦焼酎発祥の島・グルメと歴史の島として島内外に発信する。

## 文化振興事業(劇団四季こころの劇場) **4,138**千円 (うち地方債2,700千円)

子どもたちに一流の舞台芸術の鑑賞機会を持ってもらうため、劇団四季によるミュージカルによる「こころの劇場」を開催。一般市民を対象とした「一般公演」も開催。

## 機械器具購入 **12,506**千円

壱岐市農業機械銀行に設置し、農業経営の安定と生産性の向上を図るため、トラクター1台とローラー1台を購入。

## 農地及び農業用施設災害復旧事業 **1,534,397**千円 (うち県費749,974千円)

## 公共土木施設災害復旧事業 **161,272**千円 (うち地方債82,800千円)

6月29日～30日、7月5日～6日、8月16日、26日の集中豪雨により被災した農地及び農業用施設、公共土木施設等の災害復旧を行う。

※9月補正までの災害復旧事業費の総額は、

農地及び農業用施設災害復旧事業費 **2,061,582**千円

公共土木施設災害復旧事業費 **1,074,191**千円



# 委員会レポート



## ■総務文教厚生常任委員会

平成29年9月会議において、本委員会に付託された議案5件、認定4件、要望2件を審査した。議案及び認定については全会一致で可決、認定した。

### 【委員会所見】

平成30年度から国民健康保険制度の制度改革が行われることから、万全の準備をもって取り組まれない。また、各会計決算の未収金については、全庁的な課題として債権回収に努めること。

◎要望第3号は、議会・監査委員が審議した決算額に間違いはなく、苓岐市教育委員会が長崎県教育庁からの調査依頼への報告時に記

入間違いを起こしたとの事で決算額の虚偽には当たらないと判断し不採択とした。

今後、市民から疑念を抱かれないよう校舎を含めて、教育委員会内で文書の供覧等のシステムを徹底し、正確な報告業務に当たることを強く指導し再発防止に全力で取り組むことを求める。

◎要望第6号は、苓岐市においては人事や給与に関する業務は総務課職員班で適切に業務を行っている。

また、職員の昇任については、人事評価や能力評価などを参考に、任命権者たる白川市長が選考を行っており、県内13市全てで昇任試験を実施していないとの状況もあり不採択とした。

## ■産業建設常任委員会

平成29年9月会議において、本委員会に付託された議案1件、認定4件、要請1件、要望3件を審査した。議案及び認定については、全会一致で可決及び認定した。

### 【委員会所見】

決算認定の未収金対策について、税や使用料等全庁一体的な債権回収計画と合わせ、外部委託など第三者機関の設置も含め早急に対策を講じること。

◎要望第2号は、狭隘な未改良区間の県道と現市道を取り替えた場合、側溝補修、維持管理などに要する費用が増大すると思慮されることから、市内部で再度検討され要望路線の取り替えをしない方針を決定した。

また、この結果を平成24年12月に現振興局建設部に対して伝達し、双方ともに合意しているため不採択とする。

◎要望第4号は、沿岸漁業を取り巻く環境が依然として厳しい状況は十分理解できるが、現段階において市の財政状況を鑑みると、漁業経営セーフティネット構築事業による補填金支払い基準を超える原油価格ではないため、

不採択とする。

なお、特定有人国境離島地域の地域社会維持関係補助金制度において、周辺海域における外国漁船の調査・監視を行う漁船に対する燃料代支援対策メニューを新法へ盛り込むよう、市は県と協力して国に対する要望活動を継続すること。

◎要望第5号は、小島神社を含む周辺の自然景観の良さから年々訪問者が増えており、パワースポット化してきている。

要望の趣旨は十分理解はできるが、政教分離の原則や整備箇所の土地所有者問題などの観点から、要望事項全てを完全実施できないと解する。

ただし、防波堤下遊歩道については、基礎部分が露出し歩行に支障を来していると思われるので、整備の必要性があると思慮する。

また、整備をする場合には自然環境に配慮した工法を用いるとともに、現在の景観を損ねることがないように留意すること。



小島神社

## ■ 予算特別委員会

### 【委員会所見】

インバウンドおもてなし向上補助金については、ハード及びソフト面の環境整備において、各担当課間で連携し、SNS・ホームページ

等で情報発信を積極的に行うこと。

災害復旧事業に関しては、一日でも早い災害復旧を行うこと。災害隣地の所有者等が明確でなく対応が難しい場合もあるので、今後の対策を十分に考えること。

## ■ 決算特別委員会

平成29年9月会議において、本委員会に付託された認定第1号平成28年度吉崎市一般会計歳入歳出決算認定については審査し、全会一致で認定した。

### 【委員会所見】

監査審査意見書の指摘事項を重視され、健全な財政運営と適切な業務処理の徹底を図られたい。

また、未収金の処理についても、引き続き努力してもらいたい。

政策評価についても、早めの提出を願う。

### 平成28年度決算額

(単位：千円)

会計名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出差引額(A-B) C	翌年に繰越すべき額D	実質収支額	
一般会計	22,608,220	21,845,844	762,376	173,667	588,709	
特別会計	国民健康保険事業	5,581,617	5,443,671	137,946	0	137,946
	後期高齢者医療事業	309,149	306,768	2,381	0	2,381
	介護保険事業	3,374,712	3,291,388	83,324	0	83,324
	簡易水道事業	817,941	680,918	137,023	0	137,023
	下水道事業	373,906	373,683	223	0	223
	三島航路事業	118,809	118,809	0	0	0
	農業機械銀行	144,784	127,301	17,483	0	17,483
	合計	10,720,918	10,342,538	378,380	0	378,380
一般会計・特別会計の合計	33,329,138	32,188,382	1,140,756	173,667	967,089	

### 未収金一覧

(単位：千円)

未収金内訳	28年度	27年度	増減額
市税	264,945	271,879	△ 6,934
分担金・負担金	6,941	5,429	1,512
使用料・手数料	26,991	27,083	△ 92
財産収入	3,856	4,040	△ 184
諸収入	30,426	23,482	6,944
国民健康保険税	264,480	277,934	△ 13,454
後期高齢者医療保険料	3,676	2,571	1,105
介護保険料	41,311	42,827	△ 1,516
簡易水道使用料	45,045	37,958	7,087
下水道使用料(負担金含む)	963	1,033	△ 70
農業機械銀行使用料	136	108	28
合計	688,770	694,344	△ 5,574

## 議案と審議結果一覧表（9月会議）

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
9月	報告第 11号	平成28年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について	—	9/13	報告済
	報告第 12号	平成28年度壱岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について	—	9/13	報告済
	報告第 13号	平成28年度株式会社壱岐カントリー倶楽部に係る経営状況の報告について	—	9/13	報告済
	報告第 14号	平成28年度一般財団法人壱岐市開発公社に係る経営状況の報告について	—	9/13	報告済
	報告第 15号	平成28年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	9/13	報告済
	議案第 53号	壱岐市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	総務文教厚生	9/27	可決
	議案第 54号	壱岐市情報公開条例及び壱岐市個人情報保護条例の一部改正について	総務文教厚生	9/27	可決
	議案第 55号	壱岐市手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	9/27	可決
	議案第 56号	平成29年度壱岐市一般会計補正予算（第4号）	予算特別	9/27	可決
	議案第 57号	平成29年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	9/27	可決
	議案第 58号	平成29年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	9/27	可決
	議案第 59号	平成29年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9/27	可決
	認定第 1号	平成28年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9/27	認定
	認定第 2号	平成28年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/27	認定
	認定第 3号	平成28年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/27	認定
	認定第 4号	平成28年度壱岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/27	認定
	認定第 5号	平成28年度壱岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/27	認定
	認定第 6号	平成28年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/27	認定
	認定第 7号	平成28年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/27	認定
	認定第 8号	平成28年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/27	認定
	認定第 9号	平成28年度壱岐市水道事業会計決算認定について	産業建設	9/27	認定
	要望第 2号	市道【瀬戸・大左右線】から県道【勝本・石田線】の取替えについての要望	産業建設	9/27	不採択
	要望第 3号	長崎県知事に図書館図書費決算額の虚偽報告した教育委員会が杜撰で誤謬な決算額について要望	総務文教厚生	9/27	不採択
	陳情第 2号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	総務文教厚生	9/27	採択
	要望第 4号	漁業生産活動に欠かすことの出来ない漁業用燃油に対する応分の支援に対する要望	産業建設	9/27	不採択
	要望第 5号	小島及び元小島他の環境整備に関する要望	産業建設	9/27	採択
	要望第 6号	人事課を設置されて法に従い管理職々員の任用を求める要望	総務文教厚生	9/27	不採択
	要請第 1号	「道路整備事業に必要な予算確保に関する意見書」採択のお願い	産業建設	9/27	採択
	諮問第 3号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	9/27	了承
	諮問第 4号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	9/27	了承
	発議第 5号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について	省略	9/27	可決
	発議第 6号	道路整備事業に必要な予算確保に関する意見書の提出について	省略	9/27	可決
	発議第 7号	壱岐市議会基本条例の一部改正について	省略	9/27	可決
発議第 8号	壱岐市議会委員会条例の一部改正について	省略	9/27	可決	
議案第 60号	平成29年度壱岐市一般会計補正予算（第5号）	省略	9/27	可決	

一  
般

質  
問

質  
問

一般質問席

11人が登壇

「市政を質す」

一般質問とは、普段の議員活動の中で考え得たことを公表し市政に関する疑問点を質し、市民の要望に叶う施策を問う場。



音嶋 正吾 議員

◎1 杵岐は蚊帳の外・玄海原発再稼働

福島原発事故の検証も定かでない中、来年3月再稼働の条件が整い、再稼働が確実な情勢にある。本市の対応はいかに。原発事故の恐怖から、杵岐市にとって

は百害あって一利なし。

- ①市民の恐怖からの払拭対策。
- ②避難計画が住民に周知できていない。
- ③九州電力に自治会単位で原発再稼働の理解を求める責任を果たすべき。
- ④稼働前に補償問題を公文書で九州電力と締結すべき。

▲1 一貫して再稼働反対

市長

本市は地理的条件からも原発再稼働には一貫して反対である。

- ①本年3月玄海原子力発電所に係る市民説明会を行った。
- ②原子力災害避難訓練を実施している。
- ③九州電力は住民に再稼働を理解いただくよう説明責任を果たすべきである。
- ④平成24年6月に原子力防災に係る協定書を締結している。



長崎県原子力防災訓練の様子

◎2 祖国への帰還が待たれる

終戦直後の芦辺港朝鮮人遭難事故遺骨収集問題

- ①いまだ80体の遺骨が清石浜に眠っている。遺骨発掘調査の考えについて。
- ②すでに発掘済みの遺骨が、埼玉県所沢市の金乗院に厚生労働省の委託を受け安置されている。祖国へ返還するために本市が積極的に働きかけるべきではないのか。

▲2 国の考えを尊重すべき

市長

- ①発生から72年の歳月を経ており、これ以上の遺骨の発掘調査の必要はない。
- ②外交ルートで解決されるべきものとする。



植村 圭司 議員

## ◎1 市長の政治姿勢を問う

白川市長初当選時のマニフェストに「公正 公平 公開」があった。市長が直接市民と対話する「市長タウンミーティング」も初めの頃はあったが、今はない。今まで、何回実施し、今後の再開は。市の情報を積極的に出す考えは。

### ▲1 積極的に情報提供したい 市長

「公正 公平 公開」は私の政治姿勢の根幹。タウンミーティングは平成22年度と23年度に市内各小学校単位18地区で実施。労力、時間を費やしたが参加者は少なかった。再開は考えていない。然るべき情報提供を積極的にしたい。

## ◎2 子育て支援の進捗

市長は3期目選挙戦で「子育て支援推進」を公約に掲げていた。当選後に進んだ実績、今年度中に進展する内容、任期中の達成目標を示してほしい。

### ▲2 公約実現を目指す 市長

今年4月診療分から中学生卒業までを対象としたこども医療制度の拡充をした。今年度中には、市内の子育て2サークルに運営支援し、保護者同士、子ども同士の交流活性化を図る。任期中に幼稚園、保育園(第2子以降)の無料化を検討。



子育て支援ボランティアサークル「ちんぐ☆ちんぐ」の活動の様子

## ◎3 彦岐空港の今後の方針

市は、昨年の県知事要望に彦岐空港滑走路延長を盛り込むなどしている。彦岐空港の滑走路延長が必要に至った経緯、今後の事業の進め方、彦岐空港と福岡空港の空路再開が視野にあるかを問いたい。

### ▲3 航空路線を存続させる 市長

現在ORC所有の機材が老朽化を迎え、後継機では機体の大きさなどの関係で彦岐空港に就航できない。このままでは、航空路が途絶えることになるため、有人国境離島法の成立を機に空港整備を検討中。福岡路線再開も視野にある。



鵜瀬 和博 議員

## ◎1 スポーツ環境の整備充実を

近年、子どもたちのスポーツでの活躍は目覚ましい。子ども夢プラン応援補助金により、負担が軽減されたが、ハード面は十分ではない。対馬・五島市では整備され、誘致活動に力を入れている。今こそ、指導者育成と環境整備を。

- ①彦岐商業高校の合宿プランの進捗とスポーツ団体助成実績は。
- ②大谷グラウンドを陸上、サッカー競技場へ。
- ③地域おこし協力隊を募集活用しては。
- ④県スポーツコミッションとの連携とスポーツ合宿マッチングサイトに登録すべき。

### ▲1 交流人口拡大をめざす 市長

- ①「いきいき合宿プラン」として商品化。助成実績は3年間で15%増加。
- ②市体育協会、スポーツ関係団体等と協議する。
- ③保健運動指導士有資格者を募集する。
- ④登録する。

### ▲1 多目的施設の利点もある 教育長

- ②改修費用も含め関係団体等と協議検討する。
- ④関係者と協力し、進めていく。

## ◎2 もっと彦岐製品のPRを

- ①「彦岐焼酎」の地域ブランド製品の認知度調査の結果を受け感想を。
- ②国は「泡盛」の海外展開を支援予定。「彦岐焼酎」も国へ要請すべき。市単独でも支援を。
- ③彦岐産品ラッピング運送トラックを。
- ④彦岐ふるさと商社の取組、連携協力を。

### ▲2 今後も情報発信に取組む 市長

- ①結果よりも各メーカーの努力に敬意を表し、宣伝等一体となって支援する。
- ②今後、韓国市場開拓に向け、訪問し業界と一緒に取組みたい。
- ③助成も含め、トラック協会等と協議する。
- ④密に連携し、本市振興に努める。



ラッピング運送トラック



山川 忠久 議員

## Q1 小規模企業支援について

①国境離島法と小規模企業振興基本条例を活用し、どのような事業所支援を行うのか。

②雇用拡充事業を有効活用できない事業所もある。市独自の支援を検討していただきたい。

③事業承継は早急な対応が必要であるが、市としての支援策は。

### A1 関係各機関の連携が重要 市長

①Iki-Bizでの相談と合わせて財政面での支援についても研究し、制度化を図りたい。

②雇用拡充事業は、実績のある事業者が継続的に事業を継続することが大前提。内容については改善を続ける。

③事業承継については人口減少対策の面からも関係各機関が連携していく必要がある。そのための糸口として売り上げ向上を目指すためにぜひともIki-Bizの活用を。



住所：郷ノ浦町東触（JA 壱岐市本所前）

#### ※Iki-Bizとは。

壱岐しごとサポートセンターとして、平成29年8月22日にオープンした。

仕事の悩みや不安、相談なら何でもOK。農業、漁業、製造業、飲食業、宿泊業など、あらゆる業種の「チャレンジ」をサポート。

サポート内容としては、販路拡大、情報発信、新商品・新サービス、起業、新分野進出など多種多様。



呼子 好 議員

## Q1 旧交通ビルの進捗状況について

市長公約の旧交通ビル解決に時間がかかりすぎている。現在の進捗状況は。

建物の一部が破損落下の危険がある。郷ノ浦の中心地であり、通学路や買い物客、観光客等も多く危険であるので早急な解決を。

### A1 話し合いをするには、非常に厳しい環境である 市長

行政であっても個人の所有物を勝手に解体や修繕ができないので、所有者本人と協議し、解体撤去する返事をいただいているが、その後の進展はない。

現在の安全対策は、所有者本人の判断と責任においてなされている。

## Q2 まちづくり市民力事業について

これまでの助成団体数と助成金額。ボランティア団体であるが、事業費の2割を負担しているが、毎年助成額も減額されている状況なので、負担金の配慮を。

### A2 各団体が助成金に頼らず自立して欲しい 市長

平成23年度からの累計は、応募が113件、うち91件を採択している。

本来、この事業は、3年後には自立して計画していくというのが基本である。補助金頼みにならないよう考えていただき、決して無理のないような形で継続していただきたい。

## Q3 湯本温泉の再開発について

湯本温泉を活用して、トレーニングセンターや雨でも対応できる施設等で、新たな壱岐の観光名所として開発しては。

### A3 具体的な計画を見せていただきたい 市長

有人国境離島法の滞在型観光の有効な事業の活用で、観光客でにぎわう活気あふれる湯本温泉づくりを支援していきたい。

## Q4 壱岐市政政治倫理審査会の調査結果報告について

5月に報告書が出てから、新聞等で見ているが、市長自ら市民に対し不安を与えたのは紛れもない事実である。経緯を含め説明責任を十分に果たされることを求める。

### A4 定例会6月会議の行政報告で報告済みである 市長

しかるべき時期に市民の皆様、議員各位へ経緯等を含め説明させていただく。



**市山 繁 議員**

## 1. 水道事業公営企業会計の運営について

◎1 公営企業会計に統合後も水道料金の軽減策の繰り入れは実施されるのか

Ⓐ 基準外の繰り入れを行わざるを得ない

市長

水道料金の収入のみでの運営は、極めて困難である。

◎2 平成29年度の決算状況と水道料金及び今後の計画を公表されたい

Ⓐ まずは、本年度の事業を一生懸命やる

市長

平成29年度の事業を見て、今後必要な資金計画や水道料金の改定などを分析して、市民へ説明し理解いただきたい。

◎3 水道事業運営管理を、将来的に部分的か全体管理委託を検討されては

Ⓐ 民営化できるよう足元を固めていきたい

市長

水道施設は年々複雑化し、専門的技術と知識が必要。施設管理等から進め、将来的には企業会計そのものを民営化できるよう足元を固めていきたい。

## 2. 国保の都道府県への運営移管について

◎1 運営主体が都道府県へ移管予定であるが、制度変更をどのように理解されているか

Ⓐ 制度の安定化が図られると考える

市長

長崎県国保運営方針の策定・素案について、県議会承認後に、本市も混乱が生じないよう市民に十分な説明並びに周知を行う。

◎2 吉岐市のような高齢者や低所得者が多い離島は、国保加入者の負担増が懸念されるが

Ⓐ 保険水準予想については、現時点ではわからない

市長

9月末に国保連携会議と作業部会において試算結果が示され、その協議を経て、長崎県国保運営協議会で示される予定である。

◎3 国保税の軽減策で一般会計より繰り入れしているが、今後も継続できるのか

Ⓐ 場合によっては、繰り入れを実施する

市長

被保険者に負担増が生じる場合は、保険者の独自判断による法定外繰り入れを実施する措置を講じる。

## 3. 吉岐空港の整備と滑走路延長の必要性について

◎1 空港は、吉岐島の人流と物流の重要な役割を果たしている航空路である

Ⓐ 空港という財産を残すことが私の責務

市長

滑走路延長が実現するよう努力を重ねていく。

◎2 現機種は老朽化し退機の時期である。次期の機種は、現在の1,200mの滑走路では離着陸が不可能である

Ⓐ 空港整備前に機体の機種を含め早めに対応したい

市長

◎3 事業主体は県であり、要望しても直ぐに着工はできる事業ではない

Ⓐ 技術的な検証をし、機運を高めて知事へ要望していく

市長



**町田 正一 議員**

## ◎1 養護老人ホームの新設を

今年度、老人福祉計画及び第7期介護保険計画が策定される。

①市内での老人ホームの待機者の状況。

②基礎年金で入所できる多床型の養護老人ホームのベッド数の状況

③雇用の確保という観点からも福祉施設はマンパワーの集約であり、学校の跡地利用の対策としても有力な産業である。民間からの新設の申し出があった時の行政の対応は。

Ⓐ1 積極的に検討する

市長

①75歳以上の人口は、現在の5,471人から4,959人と10年後も減少幅は少ない。待機者は、現在206名。申し込み順で入所までに5年以上かかっている。

②養護老人ホームの入所者負担は、所得に応じて0円から14万円と規定。生活保護受給者は32名で無年金者が3名。

③養護老人ホームの整備は、行政としても早急に対応すべきと考えている。民間からの申し出があれば積極的に支援していく。

## ◎2 介護、国保保険料の状況

市議選でも政党候補者の全島チラシの中で、吉岐市には108億円の基金があり、これを利用して介護・国保の保険料引き下げを提言していた。誰でも負担が少なく、高福祉が実現されるにこしたことはない。

①介護・国保会計の財政上の認識。

②財政法上、特定目的基金を財調基金等の一般基金への組み入れは可能なのか。

③引き下げられない理由を市民に説明すべきである。

Ⓐ2 財政法上引き下げられない

市長

①確かに将来の財政状況を考え、108億円の基金を全体として積み立てている。特定目的基金は、介護・国保・教育等の将来にわたる負担増に対応するものであり、今後、財政運営は厳しくなってくる。

②条例でも財政法上でも、特定目的基金を介護・国保の保険料引き下げには使用できない。

③現在でも国保会計の維持に、法定外繰り入れをしている状況であり、介護保険会計も1億2千万円の基金状況で引き下げる状況ではない。



**山内 豊 議員**

## Q1 ふるさと商社について

- ①これまでに何種類の産品がリストに上がっているのか。最終的な成果の指標の見込みは。
- ②商社の「付加価値」とはどのようなものか。
- ③産品の掘り起こし、提案をするには限界があるのではないのか。

### A1 産業振興の起爆剤に **市長**

- ①これまでに100種類程ある。今後は、連携を強化し100店舗5,000万円以上を目指す。
- ②鬼風伝説と同様に商品にまつわる物語である。
- ③まずは営業活動を続けながら、組織運営、商流の確立を行い、徐々に取扱産品を増やしていく。

## Q2 Iki-Bizについて

- ①オープニングイベントの参加者は少なかったが計画性はあったのか。
- ②現在までの相談件数は当初よりもプラスかマイナスか。
- ③相談者の増収益まで、壱岐市商工会と良き相手としてやれるのか。

### A2 関係機関と連携強化 **市長**

- ①計画はあったが周知不足であったため、方法を工夫していく。
- ②当初の計画をはるかに超えた件数で、手応えを感じている。
- ③市内の業者とよりよい状態にするために思いを共有するパートナーである。

## Q3 夏期の来島者について

- ①何名の来島者があったのか。また、これから冬に向けてどういった仕掛けを講じていくのか。
- ②市内観光地の整備は直接指示を行っているのか。人口減少問題を考慮に入れて見解を伺いたい。

### A3 交流人口の拡大は重要 **市長**

- ①前年比を若干上回っている。年間を通した季節を問わない魅力があるプログラムの構築に取り組んでいる。
- ②観光地の整備は重要であり、計画性を持って魅力ある島づくりを進め、島全体の活性化を目指す。



**赤木 貴尚 議員**

## 1. 郷ノ浦港ターミナル周辺整備について

### Q1 郷ノ浦港駐車場の駐車台数増加の整備計画はあるか

#### A1 少しずつだが改善したい **市長**

郷ノ浦港駐車場は現在349台の駐車スペースがある。GW、お盆、年末年始は特に利用者は多く、臨時駐車場を設け対応しているが臨時駐車場は遠い。地域の方にご協力いただき、臨時駐車場の移動も検討中。長期間駐車の方にはチラシや所有者へ直接連絡し対応している。今後も出来るだけ多くの駐車スペースを確保できるように努める。

### Q2 路線バス・宿泊業者大型バス・タクシー・緊急車両・一般送迎車の区分け整備を行うべき

#### A2 利用者のモラルに期待したい **市長**

路線バス・タクシーについてはそれぞれ乗り場がある、宿泊業者のバスやレンタカー会社の送迎車両については、九州郵船と協議でフェリーの入港時に支障がない時間帯であれば、フェリー乗船車両駐車場を利用可能。

### Q3 郷ノ浦港周辺に新名称を募集して再開発を考えては

#### A3 イメージ的なものをお知らせ願えば幸い **市長**

名称の募集は可能。ターミナル周辺においてはスペースの問題もある、三島フェリーターミナルぐらいまで視野に入れられていると思う。広い意味での「まちづくり」と捉えている。まちづくりは、地域の機運の盛り上がりによって進んで行くと考えている。

## 2. 教育環境の整備について

### Q1 壱岐市内小中学校の普通教室・特別教室の空調(冷房)設置状況は

#### A1 小学校普通教室 未設置 中学校普通教室 未設置 **教育長**

小学校普通教室128室でゼロ。特別教室170室で37室設置

中学校普通教室34室でゼロ。特別教室73室で12室設置

長崎県下普通教室設置率8.6% 壱岐市0%

### Q2 壱岐市内小中学校の各教室の気温湿度調査は行っているか

#### A2 学校保健安全法第6条に義務 **教育長**

全ての小中学校で気温・湿度を測定し学習環境に配慮している。

### Q3 壱岐市内小学校・中学校への空調(冷房)設置計画はあるか

#### A3 考えていない **教育長**

「かわいい子には旅をさせろ」子ども達の体と心を鍛えて、その先に頭が鍛えられてくるというのが私の教育の信念。扇風機もむしろ音がするよりはいいという形で気合を入れて取り組んでくれているのが壱岐の子ども達だと思い、先生方も今その中で気持ちを揃えてしてくれていると私は捉える。



久保田恒憲 議員

## ◎1 水産業の振興策と現状及び課題について

県の水産業振興基本計画に基づき、彦岐市はどのような形で水産業の振興に取り組んでいるのか。

### ◎A1 関係機関、関係団体と連携し目標達成に向け全力を尽くす

市長

沿岸漁業の資源回復のため藻場の管理や整備、アワビ・ウニ等の栽培漁業も進めている。

また、ケンサキイカ・サワラのブランド化を図り、付加価値をつけて販売することで漁業経営の安定化にも取り組んでいる。観光との連携事業も進めている。

## ◎2 高齢者福祉の取り組みは

健康寿命が延び、元気な高齢者が地域活性化の一翼を担う、そのような彦岐にしたいと思うが、これまでの取り組みの成果と今後の方向性について。

### ◎A2 各種事業により高齢者の行動範囲が広がり、大きな効果があったと認識

市長

高齢者が生きがいや安心を感じられる町づくりを目標として、老人クラブ・シルバー人材センター・高齢者ボランティア団体等へ運営支援を行っている。

今後は、元気高齢者の活躍で活力ある地域社会の実現を目指したい。

## ◎3 「白ポスト」の利用状況は

子どもに見せたくない有害図書の廃棄、処分方法の一つとして「白ポスト」の利用状況は。

### ◎A3 白ポストの周知に努めたい

教育長

今年3月の回収時は、有害図書が9冊。6月回収時は20冊程度が入っていたが、9月はゼロだった。子どもたちに悪影響を及ぼさない形で市民が取り組まれているので、白ポストへの投入が少ないのではないかと思っている。

学校関係、社会教育の場でも、白ポストの周知を行っていく。



離島センターに設置の「白ポスト」▶



清水 修 議員

## 1. 「彦岐なみらい創りプロジェクト」について

◎1 プロジェクトのねらいと現状、特に今回（夏）提案のあった3つの活性化案について、その内容が具体化に向けて検討に値するとはどういうことか。今後の見通しはいかに

### ◎A 彦岐の活性化につなげる目的

市長

このプロジェクトは富士ゼロックスと地域創生連携協定を締結して開始され、この会での活性化案が①彦岐焼酎風呂、②ウニとチーズを混ぜたユニフォンデュ、③退屈なフェリーの旅が楽しくなる島ジェネーションの3つが内容が優れており、これを元に市民有志による対話会で具体的に検討していく。

### ◎2 今後の見通しは？

#### ◎A 彦岐市を企業として支援するための締結であり、大いに期待できる

市長

富士ゼロックスは、コミュニケーション技術に長けた会社であり、東日本大震災の時、遠野村で未来づくりカレッジの後方支援に取り組んだ実績を生かす。

## 2. 産業の振興について

◎1 仕事サポートセンターのIki-Bizとふるさと商社のことについては、今後の展開における市民の関わり方を問う

### ◎A ふるさと商社は、「全ての商品を何種類でも一緒に送れる」「手間が省かれ、送料負担が軽減できる」という特徴を親戚・友人へ伝えていただきたい

市長

## 3. 今年度の全国学力学習状況調査結果について

◎1 8月末に公表された今年度の全国学力調査と、6月の市町別に公表された長崎県小中学校学力調査の結果から、彦岐市の成果と課題について、どのように捉えているか

### ◎A 彦岐市の子どもたちの学力は生きる力の基盤を身につけている

教育長

小学校は基礎学力のA問題と活用力のB問題において、それなりの成果を維持している。中学校も国語で全国平均を上回り、数学・英語でもその差を縮めてきている。課題は、授業の前半で適切に習得させ、後半でしっかりと考えさせる活用力を身に付けさせていくこと。

◎2 よりよい活用力を身に付けさせるためには、英語の学力と情報教育の環境整備において取組が足りないように感じるので、例えば、英語指導に長けた指導主事の配置とか、より多くの普通教室への電子黒板の配置は検討できないか

### ◎A この秋から中学1年全員を対象にイングリッシュキャンプを行う

教育長

英語検定を受ける生徒には検定料を補助することを始めた。また、小学校における外国語指導講師を増やすことを検討している。

### ◎A ICT教育は、普通教室で使える電子黒板とノートパソコンを増やす

教育長

### ◎A 今回の教育委員会制度改革を機に、これまで以上に教育にかかわる

市長

# 市民の声

毎号「吉岐市議会だより」拝見させていただいています。7月の集中豪雨で改めて防災について考えさせられました。議会基本条例の追加の中にも自然災害について書かれていましたが、実際に行った時どのように対応するのか、そして私達はどのように行動すればいいのか明確にしてほしいと思いました。  
(62歳)

年金生活になり孫達に本を買ってやれるのが楽しみです。議会だよりも隅から隅まで読みます。いつもありがとうございます。  
(65歳)

私はデイに通所したり、ロングで入所したりして友達も沢山できました。まだまだ杖ですが自分の足でポチポチ歩けます。クイズが好きです。  
(93歳)

どんな予算の  
あると？をよく読みますが、多額なお金が必要なのに驚いています。  
(69歳)

袋詰め堆肥の安いのにビックリしました。汚泥再生処理センターはどこにあるのですか。教えてください。  
(71歳)

回答：郷ノ浦町坪触（吉岐市社会福祉協議会郷ノ浦事業所付近）

一般質問であった遊具のある公園施設の安全点検内容にばらつきがあると知り、子どものいる親として少し不安を感じました。事故が起こってからでは遅いので、安心して遊べるよう点検をお願いします。  
(40歳)

吉岐市民減少対策には、負担減少に市民の人員に合わせた議員数を。議会は、島内4町を交互にまわり、発言しない人がいないように、地元の方との討論などで活発化すべき。  
(80歳)



勝本保育所 運動会



クイズに答えて図書カード(1,000円)  
が当たります。皆さんのご応募待ってま〜す!!

# 議会だよりクイズ

この議会だよりの中に  
答えがありますので、  
最初から最後まで良く  
読んでみてください。



Q1

定例会9月会議の  
一般質問に〇〇人  
が登壇

Q2

毎年9月会議の〇〇特別  
委員会で、前年度の一般  
会計が審査される



一支国幼児相撲大会

Q3

平成30年2月に劇団〇〇に  
よるミュージカル「こころ  
の劇場」が開催

## 前回クイズの答え

- ①基本 ②再稼働 ③子ども

## 前回クイズの当選者

- 野元 早子 様 徳田 秀子 様  
田口 豊子 様 山田 道子 様  
佐々木正禧 様



おめでとうございます!

## 《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを讀んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521  
壱岐市勝本町西戸触182-5  
壱岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成29年11月30日(当日消印有効)

## 編集後記

秋真っ盛り。まさに「実りの島・壱岐」を肌で感じる季節になりました。

私たち議会広報特別委員会のメンバーも、今夏の市議会議員選挙の結果をうけて様変わり。ベテラン、元職、新人の8議員で編集して参ります。

読者の皆様に、「わかりやすく読みやすい」と思って頂けるように努めていきたいと思っております。編集時の合言葉は「小学4年生以上が理解できるように」。難しい言葉が飛び交う議会ですが、この方針は貫く覚悟です。市民皆様のご意見も、なるべく反映したいと思えます。どんな「声」をお寄せください。新体制をどうぞよろしくお願いたします。

植村圭司

- 議会広報特別委員会  
委員長 植村 圭司  
副委員長 久保田恒憲  
委員 山川 忠久  
山内 豊  
清水 修  
土谷 勇二  
中田 恭一  
牧永 護

## お知らせ

壱岐市ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

## 公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

壱岐市議会議員一同

## 編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触 182-5

TEL: 0920-42-1111

FAX: 0920-42-0096

【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】http://www.city.iki.nagasaki.jp



壱岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。